

银杏学園 同窓会だより

平成4年度

银杏学園短期大学同窓会 第20回臨床検査技術 講習会を迎えて

老齡はいろいろなことを引き起こす。その一つに思い込みがある。年をとると過去の出来事を自分なりに深く思い込んで仕舞う。記録をひもといてみると期日が違っていたりすることなどがよくある。

私は臨床検査技術講習会が始まったのは竹屋学長の最後の頃かと思っていた。しかし、第一回の講習会が行われたのは昭和48年3月4、5、6日で六反田学長が就任されて11ヶ月後のことである。

それからすでに20年が過ぎたと思うと誠に感無量なものがある。10年一昔というが、二昔20年の間続いて来たことに大きな拍手をおくりたい。そして、この運営のために努力をされて来た関係者の方々に心から敬意を表したい。

当初、非常に速い速度で進展していく臨床検査の分野の学問、技術に対応して银杏学園短期大学卒業生に対する卒業教育として、この講習会が行われることになったと記憶している。従って初期の間は银杏短大の主催であり、化血研が後援することになっていた。第九回以後は六反田学長の意志に従って、同窓



野中 實男

会が主催し、大学が協賛、化血研が後援することになった。

その当時、私は大学から同窓会への移行の意義がよく分らなかった。当時の同窓会の方々も戸惑われたことと思う。

しかし、20回を迎えた今、この同窓会主催の臨床検査技術講習会が残した成果は大きなものがあつたと思う。学問、技術の進歩を学び、同窓の各位が研究成果を発表し、討論して技術を益々高め、懇親会で同窓としての親交を深めるなど誠に有意義なものであつた。

過去のプログラムを再見すると、常に斯界の権威による講演が行われて居り、この講習会の質の高さが偲ばれる。それだけに講習会の準備をされた委員の方々の苦勞も大変であつたらうと思う。プログラムの内容も静かながらも相当な変容を来たしている。

臨床検査は医療の中の重要な分野を占めており、その学問、技術の進歩も益々速度を速めている。この講習会が益々発展して、開設の理念が活かされることを心から祈りたい。

ご挨拶



银杏学園短期大学同窓会長

梅橋 豊蔵

平成4年度の银杏学園短期大学同窓会便り発行に際しまして一言ご挨拶申し上げます。

先ず、同窓生各位には益々ご健勝のことと拝察致します。私ども同窓会本部をあくまで押しているメンバーも、皆様のご満足のいく運営は出来ていませんが、「何とかせにやならん」という意気込みのもと歩を進めている次第です。ので何卒宜しくお願い申し上げます。

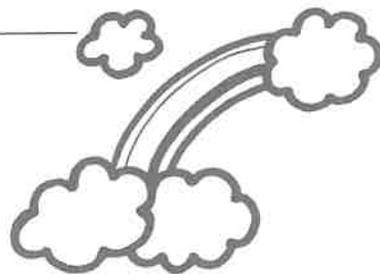
さて、平成4年度もはや半年が過ぎ、同窓会便りの発行と毎年開催しております技術講習会の準備を急がなければならぬ時期となりました。今年度は技術講習会が第20回という節目に当たりますので、技術講習会懇親会を合同クラス会としてスケールを広げて開催することになりました。この合同クラス会としての開催は、過去に昭和59年に開催し実に290名の会員のご参加を得、参加された多くの会員からも大変好評を博したという実績があります。今回は第20回という節目でもありまして、卒業生も当時より増えておりますので、より盛大なものにしたいと実行委員会を組織して目下準備を進めているところであります。テールも卒業生毎一二期単位で設定して出来るだけ同級生同士のコミュニケーションが取れる様にしたいと考えていますし、また開催日も1月15日(祭)と17日(日)の間の土曜日に設定しましたので、是非沢山の会員各位のご出席をお願い申し上げます。

10月末には会員名簿も発行致します。会員名簿につきましては、数年前からご案内しております終身会費納入者のみに送付いたしますので、何卒ご了解戴きたいと思っております。先日、九州内のある尊敬する先輩から、そして別の県の数人の知人から同窓会を企画しているからは是非来るように、と言う嬉しいご連絡を戴きました。また、九州の技師会連絡会議で、年数回県外の数人の先輩方とお会いする機会がありますが、所属する単位技師会は異なっても、目に見えない大きな温かい繋がりを感じます。この同窓生と言う絆を会員各位がそれぞれの立場で積極的に強固なものに育て、相互向上して欲しいと念じてやみません。

会員各位のご多幸を祈念致します。



全国学会を 振り返って



日臨技熊本学会をふりかえって

銀杏短大三期生 荒木 千章

私が銀杏学園短期大学を卒業して早くも20年が過ぎました。

これまでに幾度か帰郷はしましたが、多くの同窓生と親しく会う機会も少なく、ごく限られた友人達と熊本県技師会の一一般話をする程度でした。会からの活動状況については正確に把握はしてなかったような気がします。

今回の全国学会では、会員一人一人がチームワーク良く、同じ目的に向かって一致協力されている姿を見ました。まさしく熊本県技師会は、上野会長を頂点とし、梅橋、丸山両副会長を主軸に一枚岩である、と確信する姿でもありました。また、役員も多くに同窓生の方々の姿を見、熊臨技の力強さを感じると同時に、母校の貢献をうれしく思った学会でもありました。

一方、熊本学会のメインテーマである「新世紀への飛翔」にふさわしく、若い会員の活躍がいたるところ

ているからでしょう。

そして学会が無事終わった時、会員相互の協調性が以前にまして大きくなり、お互いが理解し合える仲間になっていくのです。

大きな仕事の後の結束力は、会を飛躍させる最大のエネルギーとなり、会の発展は約束されていると断言できます。

それは、全国学会を成し遂げたという自信が、会員一人一人の誇りと

“同窓会に出席し”

医技専六期生 内田 憲一

銀大同窓生の皆さんお元気ですか。新卒のフレッシュマンから定年間近かの大先輩まで、又、専業主婦として子育ての真っ最中の人達まで、幅広い分野でご活躍の事とお慶び申し上げます。

去る平成4年4月の第41回、日臨技全国学会が熊本市で開催されました事をご承知の通りです。その4月25日の夕方、学会懇親会を利用して、銀大の同窓会が催されました。ホテルキャッスルを会場とし、桑原氏(銀3)の進行で、梅橋同窓会長のあいさつで始まり、第41回全国学会の役員も銀大同窓生が大部分を占め、その成功に大きく貢献致しました。そのせいもあり、あちこちで旧交を温める姿も、澆漓に見えたのは身引きばかりではなさそうでした。

野中学長の銀大への新たな前進へのテコ入れのごあいさつに、同窓生一同、意を強くしたものでした。その後、出席している同窓生の各卒業生を代表して、近況報告やあいさつが行なわれましたが、会場のあちこちで、同期、あるいは先輩後輩とのあいさつやら何やらで、もうワイ

なっているからと思うのであります。

熊臨技の会員は我が母校の卒業生が大半を占めていると思います。技師会の発展は銀杏学園短期大学の発展にもつながるものと確信しておりますし、技師会を盛り上げて行くのも我が母校の卒業生の役目と考えております。

「新世紀への飛翔」このテーマこそが熊臨技を支える両輪の飛翔であると考えます。

ワイガヤガヤと、それはもう収集がつかない位の賑やかさでした。

熊本県内はもちろん、九州一円、更には関東中部、関西からも出席がありました。正確な受付数は77名ですが途中から参加された方々を入れると百名を越す会となりました。午後9時をまわった所で開きとなりましたが、同級生同志、翌日の全国学会を少し気にしながら、熊本の夜を久し振りに満喫された同窓生の皆さん、ご苦勞様でした。

さて、二千三百余名の同窓生の皆さん！毎日の業務、生活でお忙しい日々をお越しの事と存じますが、同窓会の百名余の出席を良好とみますか、少ないとみますか？、どうぞ同窓会活動への参加、ご協力をお願い致します。



九州屈指の私立医療短大

銀杏学園短期大学

きん きょう

深い教養と人間性に富む医療技術者を育成する短大

学長 医学博士 野中 實男



■衛生技術科(男女)

(3年制)100名

臨床検査技師育成

○特 典 臨床検査技師国家試験

受験資格取得

○就 職 医療機関・研究所など

■看護科(進学課程・男女)

(2年制)40名

看護婦(士)育成

○特 典 看護婦(士)国家試験

受験資格取得

○就 職 医療機関

■推薦入試

	受付期間	試験	発表	試験科目
衛生	4年11月16日(月)~11月26日(木)	12/3(木)	12/10(木)	現代国語(含作文)・理科I 面接・健康診断 (地学分野を除く)
看護	4年11月16日(月)~11月26日(木)	12/3(木)	12/10(木)	現代国語(含作文)・看護学 面接・健康診断

■一般入試

	受付期間	試験	発表	試験科目
衛生	一次 5年1/8(金)~1/22(金)	2/3(木)	2/10(木)	数I・II、英語I・II、理科(物理・化学・生物の中から1科目選択。但し、理科Iの当該分野含む)面接・健康診断
	二次 3/11(木)~3/16(木)	3/23(木)	3/27(木)	
看護	1/8(金)~1/22(金)	2/3(木)	2/10(木)	基礎学力試験(現代国語・数学I・英語I) 看護基礎医学・看護学・面接・健康診断

募集要項 千共1,000円(小為替又は切手)・学生部教務課

銀杏学園短期大学

〒860 熊本市清水町大窪819番地
電話(096)344-7611代表 電話(096)356-5656(教務課)



山田 昭

平成4年4月、学生部長に就任した山田昭です。化血研の常務理事を退任し、銀杏学園短期大学専一に奉職することになりました。

同窓会の皆様方、どうぞよろしく
お願い申し上げます。

野中實男理事長、学長とは化血研で30余年お付き合いさせて頂いた間柄であります。

諸先生並びに職員の皆様と共に、
学校経営に、学生の教育に、野中先生を盛り立て学校発展のため努力を
尽したいと思っております。

18才人口の減少するなか、文部省は従来の枠組の一部を外し、各大学が特色ある教育研究が行えるよう大学・短期大学設置基準の一部を改正しました。各教育機関は生残りをかけて独自の道を探りつつあります。我が大学も医療技術系を中心に更に基礎を堅め、将来の発展拡大を志向鋭意努力中であります。

同窓会の先生方の更なるご協力を心からお願いたします。

次に臨床検査技師及び看護婦(士)国家試験並びに両科の就職状況をご報告いたします。

先づ、第38回臨床検査技師国家試験成績は、本学第22回卒業生77名中合格者は僅か44名で、合格率57.1%であり、最近にない悪い成績でした。全国では既卒者を含めた合格率が59.6%でありました。

●第38回臨床検査技師国家試験成績(平成4年3月15日実施：4月24日発表)

	受験者数	合格者数	合格率%	備考
銀杏短大(22回)	77	44	57.1	有資格卒業77名
全 国	5,282	3,146	59.6	既卒者を含む

●合格者の累計

年 度	年 回	卒業年度の合格者数	卒業年度の合格		今 回 の合格者数	合格累計	
			数	%		数	%
3	22	84	44	57.1	44	44	57.1
2	21	92	66	75.9	10	76	87.4
元	20	75	49	65.3		58	77.3
63	19	88	63	76.8		72	87.8
62	18	67	46	69.7		56	84.8
61	17	91	63	70.0		83	92.2
60	16	94	76	83.5		87	95.6

●第81回 看護婦(士)国家試験成績(4年3月8日実施：4月27日発表)

	受験者数	合格者数	合格率%	備考
銀杏短大(8回生)	48	47	97.9	有資格卒業48名
全 国	37,053	36,505	98.5	既卒者を含む

●合格者の累計

年 度	年 回	卒業年度の合格者数	卒業年度の合格		今 回 の合格者数	合格累計	
			数	%		数	%
3	8	48	47	97.9	47	47	97.9
2	7	44	44	100.0		44	100.0
元	6	48	41	85.4	1	48	100.0
63	5	51	46	90.2		49	96.1
62	4	43	40	93.2		43	100.0
61	3	41	37	90.2		41	100.0
60	2	44	41	93.2		44	100.0

現在、学長命令により、衛生技術科において、その分析と対策について検討し実施しつつありますが、複合的な原因であると考えております。昭和60年度からの成績もお示しします。

次に第81回看護婦(士)国家試験成績は、本学第8回卒業生48名中合格者47名で、合格率97.9%、全国では98.5%でした。昭和60年度からの成績もお示しします。

次に平成4年6月1日現在の衛生技術科卒業生の就職状況をお知らせします。未定者が26名と多く気がかりです。

看護(士)科は100%就職しております。ご挨拶の中で、「更に基礎を堅め、云々」と申し上げましたが、国家試

●平成3年度衛生技術科就職調査

平成4年6月1日現在

各種施設別	人数	男	女
国公立病院	9	3	6
医療事業団(労災、共済、日赤)	6	1	5
公益法人(医師会、社会保険)	6	0	6
財団法人(化血研、研究所、済生会)	5	1	4
医療法人、個人病院	21	2	19
会社、(研究所)	1	1	0
検査センター	10	1	9
小 計	58	9	49
未 定	26	7	19
合 計	84	16	68
卒業生数	84名	68%	

験合格率も向上させることが先づ我々の責務であり、同窓会の先生方の負託に応えることになると考えております。

どうぞ先生方のご指導とご叱責をお願い申し上げます。



就任 挨拶

学校法人銀杏学園事務局次長
銀杏学園短期大学厚生課長兼

山鹿 和男

私は今年4月1日付で化血研より
本学に出向して参りました。今まで
化血研の東京事務所長として日本の
中心地東京で多くの社会勉強をして
来ました。何卒よろしく御鞭撻賜わ
りますようお願い致します。

さて本学における最近の求人状況
をみますと臨床検査技師の求人倍率
は前年度で5・6、今年が9月中旬
現在でほぼ前年度並になっており、
このペースで進むと前回は多少、上
回るのではと予測しております。
求人側の新しい傾向と思われるもの
に臨床検査関連メーカー及びその代
理店等更には食品検査、通信販売の
モニター等と幅広い職種からくるよ
うになりました。一方看護科におけ
る求人状況をみますと全国的に慢性
的看護婦不足を反映して、深刻な状
況がうかがわれます。

一方学校側の対応としては当然の
ことですが社会性豊かな、つまり知
性、感性に優れた人を世に送り出す
ことが我々への課題でありつとめと
して捉えております。また将来への
思いと致しましては、少しでもより
よい学校に発展するよう環境整備を
含めて傾注しているところでありま
す。私自身も永年築いて来た人間関
係や人生経験を活かし素晴らしい学

園を目指し努力したいと思っております。

最後に学校から同窓会の皆様へ
お願いとしまして今後も毎年、後輩
が卒業し巣立ちますので就職に関し
ての情報等について先輩のお勤め先
や他の施設でも結構でございますが
是非御協力をお願い致します。

銀杏学園短期大学同窓会の益々の御
隆盛と会員皆様の御多幸を祈念して
就任の御挨拶と致します。

銀杏学園短期大学 教務課長

下藪 昌幸

私は本年5月1日付で本学に御世
話になっております。今まで約35年
間化血研で数多くの経験をさせてい
ただき、勉強させてもらいました。
学園のため少しでもお役にたつよう
今後どうぞ宜しく御指導御支援の程
お願い申し上げます。

さて、私事ながら昭和32年、化血
研東京事務所所員として勤務してお
りましたが、本所の指示により衛生
検査技師養成所関係の調査のため、
文部省大学学術局担当課長を訪問し
た記憶があります。ついで35・36年の
2年間は熊本医学技術専門学校の特
育担当教員として御世話になり、一
二期生の皆さんと実技に、レクリ
に、打上げの飲食等と一緒に楽しく
遊んだ？ものです。このたびこれも
何かの御縁があったものと感じてお
ります。

このたび教務課という私にとって
初めての難しい仕事を担当すること
になりました。
事務分常を拝見しますと、大変範
囲が広く複雑多岐に亘り細い配慮が
必要なようです。

常時学生の皆さんや学内学外の先

生方と接する訳ですが、何せ学校と
いう環境そのものが私にとっては初
めての経験であります。

学園の教育理念にもあるとおり、
現代医療の一翼を担う一端の一員と

同窓会活動の現状について

銀杏学園短期大学同窓会副会長 桑原 英雄

平成2年度の同窓会だよりの紙面
で、同窓会の組織と活動について報
告致しました。そこで、今回は同窓
会で実施している主な事業について
その現状を説明したいと思います。

(1)技術講習会について

技術講習会は平成4年度で第20回
を迎えることになりました。この技
術講習会の内容や形式については、
学術部を中心に検討しております。
最近の傾向として、内容が検査技師
のための専門的分野のものばかりで
なく、文化講演を加え、より多くの
卒業生に関心をもって参加してい
たくよう配慮していることです。時
期は例年1月中旬から2月上旬にか
けて開催しておりますが、この講習
会を企画するさい、最も頭が痛いこ
とは参加者が少ないことです。毎回
多くの方に参加していただくよう企
画には苦慮しておりますが、第19回
の参加者は108名でした。この数字は
ほぼ例年並でここ数年横ばいの状態
です。また講習会時に懇親会も併せ
て開催しておりますが、これも参加
者は50名強で横ばいの状態です。今
後、技術講習会そのものは是非を含
めた同窓会における技術講習会のあ
り方について、再検討していく時期
にきていると思います。

(2)同窓会だよりについて

同窓会だよりは、例年、技術講習
会の案内およびプログラムと同封し

して、学園の輝かしい未来への発展
のため、多年の経験が少しでも御役
に立つよう微力乍らその職務に努力
していきたいと考えております。
全国各地で御活躍の同窓会諸兄の

で、12月上旬に発送しております。

平成3年度の発送部数は、勤務先の
会員に1222部、自宅の会員に8
67部、計2089部郵送しました。
これは総会員の約85%に当たり、残
りの15%は行方不明の会員というこ
とになります。この同窓会だよりの
内容については、企画部を中心に検
討しておりますが、毎回、挨拶や各
部からの案内や連絡などがほとんどの
状態です。例えば、同窓生の近況
報告、支部会からの活動状況や連絡
などを加えて、もっと身近で関心を
もって読んでいただけるような内容
にすべきと考えております。

(3)会員名簿について

会員名簿(学窓)は庶務部を中心
に2・3年ごとに発行してきました。
前回は銀杏学園短期大学創立30周年
記念として、平成2年2月に発行し
ております。最新号は今年の10月上
旬に、終身会費納入者に発送する予
定で現在印刷の段階であります。今
回の発行に当たって、まず、大きな
病院や検査センターを対象に、会員
の実態調査を行いました。その結
果を基に各期の評議員の方々に、そ
の期の会員の連絡先の確認及び訂正
を行っていただきました。そのため、
前回より内容がさらに充実したもの
になりました。

これらの活動以外に支部の活動を
活発にする目的で、すでに平成3年

皆様におかれましては、御健康に充
分御注意のうえ、益々の御多幸を心
から祈念し、併せて同窓会の尚一層
の御隆盛を御祈りして、就任の御挨拶
といたします。

度にアンケート調査を済ませ、現在
その具体策を検討中であります。ま
た、会計部より終身会費納入率を高
めるため、未納者に督促状を発送し
ております。

以上、同窓会活動について簡単に
説明しましたが、この会活動全般に
ついて、会員各位の忌憚のないご批
判、ご意見をいただければ幸いです。
(9月20日記)





技術講習会・総会 合同クラス会案内

第20回技術講習会

◎日 時／平成5年1月16日(土) 15:00~17:40
◎会 場／同仁堂ホール スタジオライブ

同窓会総会

◎日 時／平成5年1月16日(土) 14:20~14:50
◎会 場／同仁堂ホール スタジオライブ

合同クラス会

◎日 時／平成5年1月16日(土) 18:00~21:00
◎会 場／鶴屋デパート8階 宴会場
◎会 費／3,000円



銀杏学園短期大学 第20回技術講習会特別講演

世界の環境問題を考える

熊本大学医学部 遺伝発生医学研究施設
助教授 原田 正 純

水俣病を通じて我々は様々なことを学んだ。自然界における濃縮と拡散、食物連鎖、毒物の胎盤通過などにはじまり、更には安全性の考え方の償いのあり方から政治的問題等まで問題は多い。

初めての経験であった為に、医学、法律、行政あらゆる分野での対応の戸惑いがあった。そのことが問題の解決を遅らせ、被害を拡大してしまった。我々はその事を反省し、その経験を生かさなければならない。

特に、途上国においてきわめて重要なことである。水銀問題に関してみると、カナダ、中国、アマゾンの例について考えてみたい。

その他に、韓国の化学コンビナート、マレーシア、インドネシア、タイの汚染事件、インドの農薬中毒事件などをみながら、私達の暮らしとの関係を考える。公害は決して終わっていない。今後は先進国と途上国の間で公害問題をめぐって紛争が増えるであろう。

庶務部

前回の同窓会だよりでお知らせした同窓会名簿の発行がついにできました。会員の皆様、今回の名簿は如何でしょうか。

本来、平成4年度春の発行を目指していたのですが、諸事情によりこのように遅れまして大変申し訳ありませんでした。

何度も催促のお電話を頂いた方、会費を払ってないから名簿がこないのでしょうかと心配された方、その他たくさんの方々にご迷惑をおかけしました。次回の名簿発行の時にはもう少しスムーズにやりたいと思います。

ご存じとは思いますが、この名簿は終身会費納入者の方のみに配布しております。

会費を納入されたにもかかわらず、御連絡先の不明等で名簿をお渡しできていない方も若干おられますので、もしお知合いにそのような方がいらっしゃったら、御手数ですが庶務部までお知らせください。

なお、このあと終身会員会費を納入された方にも、現在の名簿の在庫がある限りはお渡しできると思います。

また、今回の名簿には連絡先変更届を綴じこんであります。住所、姓名、勤務先等が変わられた際には、この届用紙を御利用頂ければ幸いです。

名簿をご覧になった方はおわかりと思いますが、未だ、200名近くの方々の連絡先が不明です。下記の宛先でも連絡先変更は受け付けておりますので皆様のご協力をお願い申し上げます。

庶務部：

〒860 熊本市清水町大窪819
銀杏短大内 同窓会庶務部
TEL.096-344-7611

会計部より

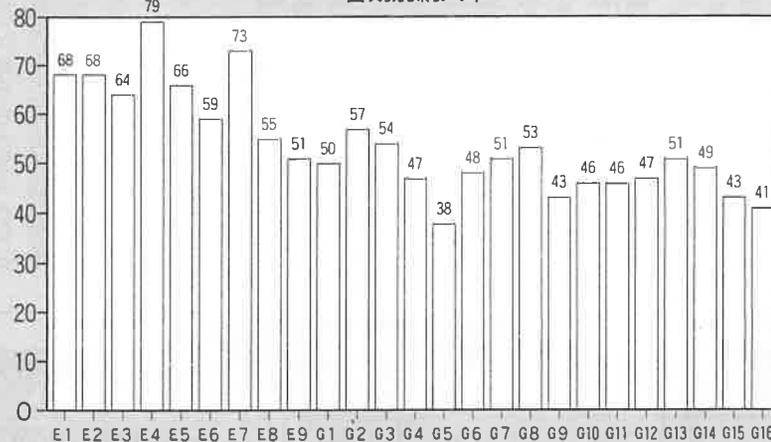
企画部からの原稿依頼で終身会費の納入状況報告をするようにとのことですので以下御報告致します。

平成3年度同窓会事業として、終身会費未納者への督促状発送による納入促進をおこないました。督促は3回目を数え、通信費等費用もかなりかかりこれを最後とすることになりました。そして今回、名簿発送のため平

成4年8月末日を区切りに整理し、納入率を各期に調べたところ別グラフのようになり、全体ではちょうど50%の納入率となりました。ただ、期を追うに従い低下しているのは気がかりです。(17期以降は卒業時までに徴収)。

前に、せめて会員の50%は徴収すべき、という声が役員にありましたが、遅ればせながらも一応届いた感じです。医技専4期、銀大8期など急の伸びです。納入された方、又それにはたつきかけられた評議員の方にはお礼申し上げます。会計部としては、今後も未納者がおられる限りは納入の促進は続けねばなりません。100%めざし、これからも納入受付は致しますので未納者の方どうぞお願い致します。

各期別納入率



平成2年度 決算報告 (平成3年3月)

収入	(単位：円)
平成元年度繰越金	4,302,303
入会金(新卒業・新入生)	1,560,000
終身会費	962,960
雑収入	126,891
	6,952,154
支出	
講習会費	163,173
会誌発行費	249,441
通信費	87,940
会費費	78,945
人件費	31,380
雑費・事務消費費	19,365
	630,244
6,952,154-630,244=	6,321,910
	平成3年度へ繰り越し

平成3年度 中間報告 (平成3年12月現在)

収入	(単位：円)
平成2年度繰越金	6,321,910
入会金(新入生)	360,000
終身会費	15,000
雑収入	9,344
	6,706,254
支出	
会誌発行費	125,985
通信費	65,358
会費費	53,573
印刷費	23,381
人件費	31,970
事務消費費	17,788
雑費	26,280
	344,335
6,706,254-344,335=	6,361,919
	平成3年12月現在

平成4年度予算

収入	(単位：円)
繰越金	6,000,000
終身会費(新入生)	1,000,000
終身会費(既卒生)	50,000
	7,050,000
支出	
会誌発行費	1,800,000
支部活動費	300,000
講習会費	500,000
印刷費	50,000
通信費	50,000
会費費	100,000
事務用品	50,000
予備費	50,000
	2,900,000
7,050,000-2,900,000=	4,150,000
	次年度繰り越し予定

納入先
郵便振込
口座番号 熊本 1-35812
第一勧業銀行
口座番号 682-1215739
肥後銀行
口座番号 101-1474157
〒860 熊本市清水町819
銀杏学園短期大学同窓会 宛
(期別、旧姓等は詳しくお願い致します。)